

(様式4)
令和7年12月4日

令和7年度 第2回 大阪市立島屋小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立島屋小学校
校長名 岡田 英士

日 時	令和7年12月2日 19時00分～20時00分	
場 所	大阪市立島屋小学校 多目的室	
出席者	委員など	委員長 及び 委員4名
	校園	校長・教頭・教務主任
	区役所	1名
議題	(1) 令和7年度「運営に関する計画」中間評価について (2) 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について (3) その他	
協議要旨	協議の結果	意見の概要
	(1) 令和7年度「運営に関する計画」中間評価について	<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">児童支援委員会を設立し、生活指導（不登校）、特別支援等に関わる児童を対象に、管理職、SSW、SC、教育相談コーディネーター、担任、特別支援コーディネーター等が集まり、組織的に支援内容を検討している。児童の挨拶が良くなってきたとの報告があった。防犯訓練に関する外部講師の招聘は生活指導部と検討中。 昨年度は「さすまた講習会」を実施。来年度に向けて津波避難訓練、大津波避難訓練の実施を検討している。 <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none">運動状況の把握について、「実際にはもっと運動している可能性があるのでは」という指摘があり、児童への質問方法の改善が提案された。 <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none">デジタル化の進展により、読書の機会が減っている懸念が示されたが、委員会活動や読書ボランティア（よむよむ）の協力により、図書に触れる機会は確保されているとの補足があった。

	(2) 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・国語・算数は全国平均を下回り、理科は全国平均を上回った。 ・中間層の学力の児童が多いとの分析。 ・質問紙調査では、自己肯定感の低さが課題として示された。 → 異学年交流の実施が、自己肯定感向上につながる可能性について意見あり。 → 個性伸長・社会性・学力向上のバランスが必要との指摘。 → 自己肯定感だけでなく「自己有用感」を伸ばしていく必要性が示された。
	(3) その他	<p>■ 島屋エンジョイカーニバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が企画したブース出店について、地域としては歓迎する姿勢が確認された。 <p>■ 島屋ガーデン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が協働して育てる体制が望ましいとの意見があった。 ・今後の管理体制について検討が必要。
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度「運営に関する計画」中間評価 ・令和7年度『全国学力・学習状況調査』の結果 	
備考	傍聴者[0]名	